

JSP-53W

鋼桁の送り出し架設検討

【概要】

JSP-53W は、鋼構造架設設計施工指針(2012 年版、土木学会)に基づき、鋼箱桁および鋼桁の手延機による送り出し架設工法(送り出し装置を用いる)の全工程に対する断面力を自動的に算出し、断面および腹板座屈の検討、照査を行います。腹板の座屈照査は道路橋示方書・同解説Ⅰ共通編、Ⅱ鋼橋・鋼部材編(平成 29 年 11 月)、DASt Richtlinie 012 鋼板の安定照査(1978 年 10 月、西独鋼構造委員会)、鋼構造架設設計施工指針(2012 年版、土木学会)を用います。

【特長】

- ① 支点撤去、ブロック追加、支点設置を自動で行い、たわみ、断面力をステップ毎に算出し、断面照査を行います。
- ② 負反力が生ずる支点の対処方法は以下より選択できます。
 - ◆ 処理なし
 - ◆ 最後部移動支点を撤去する(方式 A)
 - ◆ 方式 A でも負反力が生じた場合は、最大負反力点を撤去し、負反力支点がなくなるまで繰り返す
 - ◆ 最大負反力点から順に、負反力支点がなくなるまで撤去する
- ③ 主桁および手延機のカンバー差の断面力を考慮できます。
- ④ 橋脚の標高、製作そり差、ステージ(作業台)の勾配を考慮できます。
- ⑤ 主桁断面形状は以下に対応しています。
 - ◆ RC 床版：鋼桁(1 主桁)、箱桁(1 主桁)
 - ◆ 鋼床版：鋼桁(1 主桁)、箱桁(1 主桁)
- ⑥ 支点のジャッキアップ、ダウンはステップの範囲を指定して設定できます。
- ⑦ 盛り替え方法は以下より選択できます。
 - ◆ 可動支点が盛り替え長以内に入ったとき(可動支点ありの場合)
 - ◆ 桁端が盛り替え長以内に入ったとき(可動支点なしの場合)
 - ◆ 安定計算で許容値がオーバーになったとき(オプション)
 - ◆ 手延機が橋脚を通過したとき(オプション)
- ⑧ 腹板座屈の照査を行います。

【製品価格】

		税込	税抜
使用許諾料	1 ライセンス	1,650,000 円	1,500,000 円
追加ライセンス料	1 ライセンス	330,000 円	300,000 円
サポートサービス料※1	年間(必須)	13,200 円	12,000 円

※1 サポートサービス料には、問合せサポートおよびマイナーバージョンアップ料が含まれています。

【制限】

節点数	200 節点	主桁ブロック数	100 ブロック
支間数	20 支間	ステップ数	300 ステップ
主桁断面数	100 断面	手延機断面数	30 断面

【ライセンス 認証】

インターネット認証

インターネット認証とは、インターネットを介して認証・管理するプロテクト方式です。

マルチユーザライセンス※2	複数の PC で利用可能(事業所内)
シングルユーザライセンス※3	単一の PC で利用可能(事業所内)

※2 マルチユーザライセンスとは、ライセンスサーバに登録したライセンス情報の範囲で、複数のクライアント PC から同時に製品を起動できる運用方法です。

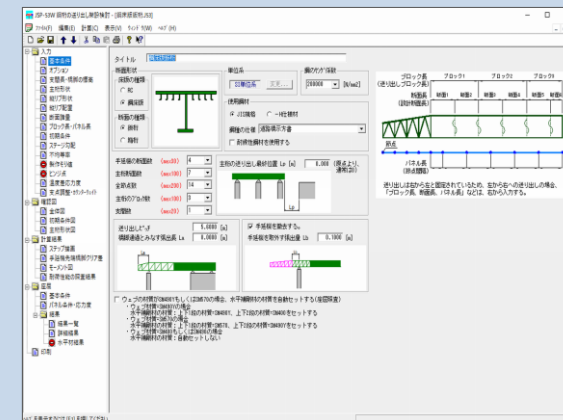
※3 個々の PC に対してライセンスを登録し認証する運用方法です。特定 PC1 台のみのライセンスが有効となります。

【動作環境】

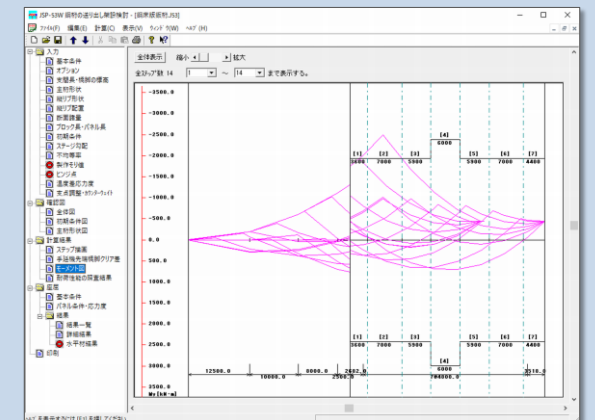
Windows 10/11

Microsoft®, Windows®は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

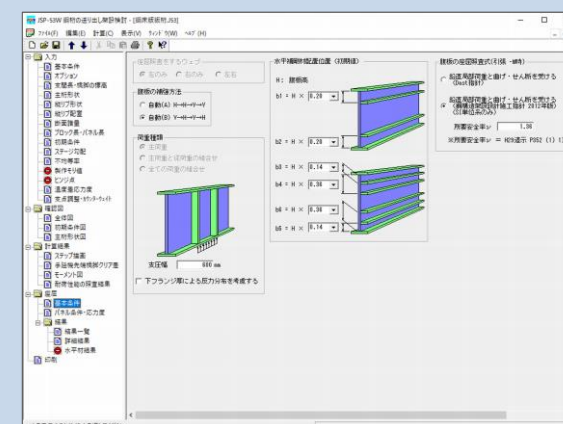
【画面例】



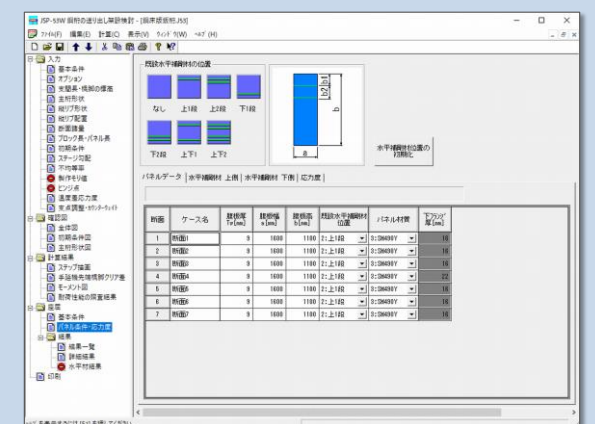
入力／基本条件



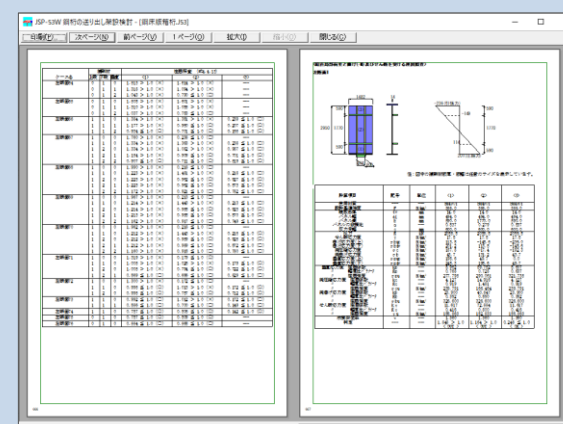
計算結果／モーメント図



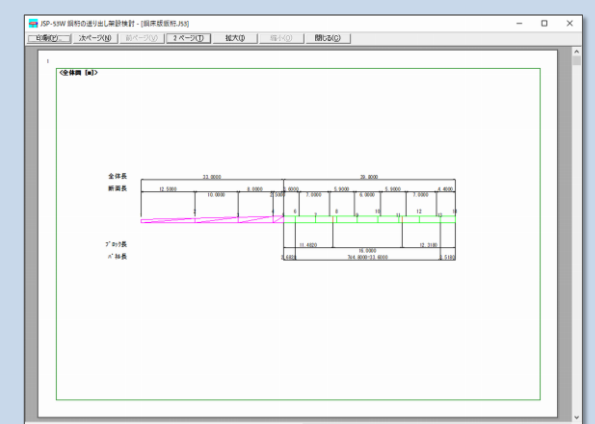
座屈／基本条件



座屈／パネル・応力度



印刷／計算結果帳票



印刷／計算結果帳票

